Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Usefulness of 11C-methionine positron emission tomography for treatment-decision making in cases of non-enhancing glioma-like brain lesions

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡辺, 淳志 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31562

様式（6）

学　位　審　査

学　位　番　号	甲 第 627 号	氏　　名	渡辺　淳志
審　査　委　員　会	主　査　教　授	村垣　善浩	

論文審査の要旨（400 字以内）

申請者が実施した臨床研究は、非造影神経膠腫および類似病変に対する治療方針決定に関する ^{11}C メチオニン PET の有用性に関する後方視的研究である。低悪性神経膠腫疑いの患者に対し ^{11}C メチオニン PET を施行した所、高集積の患者群が低集積の患者群と比較し、待機中の悪性転化や腫瘍内出血など重篤なイベント発生が有意に高かった。また低集積群の中に偽腫瘍病変と考えられる病変縮小をきたした症例を認めた。すなわち低悪性神経膠腫を疑う場合、高集積の患者には早期の手術が推奨され、低集積の患者には経過観察がオプションとなるという、手術を中心とした治療方針の意思決定に有用であることを示した。

本研究は新規性の高い画像診断に関して臨床上の有用性を示した点、日常臨床において手術治療方針の意思決定に有用な情報を提供した点から、医学への貢献度が大きい研究内容である。本研究を実施した申請者は学位授与に相応しいといえる。